

新任式・始業式、令和7年度入学式



新任式(4月4日)生徒会長歓迎の言葉



前期始業式(4月4日)



入学式(4月4日)新入生代表宣誓



入学式 1学年正副担任紹介



入学式 校歌斉唱

前期始業式 校長講話 要旨

2年前の入学式が思い出されます。第一体育館で、新入生代表宣誓は現3年3組の下田さん、入学許可の呼名は普通科は、3年1組の足助さん 国際教養科は3年5組の有岡さんでした。

〇3月の皆さんの活動や活躍など

クラブ活動では、大会や発表会への参加。生徒会や部・同好会では、新入生受け入れの準備。海外語学研修には40名が参加して、約2週間オーストラリアで充実した研修をしてきました。

風越高校の生徒会と同窓会も関わってきたカンボジア支援に係わって、3年の村沢さんが3月下旬に飯田市の「カンボジアスタディツアー」に参加して、現地の「飯田学校」の公立学校認定の記念碑除幕式に、代表者としてスピーチをしてきました。(→裏面参照)

〇皆さんに伝えたいこと

<一日一日を大切に、丁寧に生活しよう！(「質実勤勉・自由闊達」)>

目標が見つからない、やる気が出ないという人には、日常を誠実に、丁寧に生活することを勧めます。あいさつや予習・復習、毎日決めた教材に取り組む、わからないことをそのままにしない、人の話をしっかり受けとめる、感謝の気持ちを言葉で表すなど。一日一日を丁寧に送ることによって、将来の目標や夢につながるヒントが見えてきますし、そこからやる気も湧いてくるはずですよ。

夢や目標が見えたら、勇気をもって一歩を踏み出してください。

※毎日を誠実に、丁寧に生活するヒント

- 〇あいさつ、整理整頓、感謝の言葉、思いやりの言葉
- 〇継続的な勉強、読書、生徒会活動、ボランティア活動
- 〇苦しい時は相談や助けを求め、困っている人に手を差し伸べる
- 〇やりたいことが見えてきたら、勇気をもって一歩を踏み出す！

<確かな情報を知り、共有することの大切さを再確認しよう！>

人類の進化は、多くの仲間と「物語」を共有できたことが要因と言われています。個人や家族を越えて、百人、千人、それ以上の単位で考えを共有し、(たとえば、神話、宗教、理念、小説や映画など)イノベーションが世代を越えて継承され拡大してきたのはこの特性のおかげです。(参考:ユヴァル・ノア・ハラリ「サビエンス全史」)

しかし、このことは必ずしも良いことばかりではありません。特にSNSが急速に広がった現代では、個人、国家、地球レベルで多くの深刻な問題が起きています。(デマ、誹謗中傷、民族間の紛争など)

多くのトラブル、誤解、争いは、正しい情報を知らないこと、事実に基づいて互いを理解しようとする努力を怠ることから生じます。

※より良い関係性を築くためのヒント

- 〇トラブルの多くは、無知やそれ起因する偏見であることを自覚
- 〇正しい情報を伝え、知ろうとする努力を続ける
(人の気持ちを察し、自分の気持ちを上手に伝えることも大切)
- 〇教科書、書籍、新聞はプロの目を通して伝えられている、一定程度正確な情報。鑑識眼を養うのに有効。
- 〇「良いこと」は遠慮せずに、積極的に共有し、広めましょう！

<本年度の生徒会のスローガン「創造革命！」>

みなさんでこのスローガンを共有し、課題も認識しながら、良いことは認め合い、励まし合い、助け合いながら、生徒会活動を展開して、6月下旬の風越祭につなげていってほしいと思います。



対面式(4月7日)



対面式(4月7日) 校歌独唱 3年黒田さん



留学生プリシラさん自己紹介(4月7日)



部活動紹介(4月8日)

令和7年度入学式 式辞 要旨

本日ここに、ご来賓のみなさまをお迎えし、保護者の皆さまと共に入学式を挙行できますことをたいへん嬉しく思います。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これまで支えてくださった人への感謝の気持ちを忘れずに、飯田風越高校での学びを充実したものにしてください。

本校は、明治三十四年、西暦 1901 年に、下伊那郡立下伊那高等女学校として創立され、その後、飯田市立実科高等女学校と統合し、昭和二十四年に飯田風越高等学校となりました。創立以来「質実勤勉・自由闊達」を校風の基調とし、生徒たちは勉強や生徒会活動、クラブ活動に真摯に打ち込み、同窓生は、飯田下伊那を中心に地域の経済や教育、医療・福祉、文化を支えるとともに、広く国内外で活躍しています。

○皆さんに伝えたい3つのこと

一つは、自分の人生で、人との比較でなく「自分はこれを大切に生きていく」と自信を持って言えるものを見つけて欲しい、ということです。自分の好きや興味関心、良さや得意を見つけて、それを大切に育ててほしいと思います。それが、これから生きて行くうえでの自信や活力、困難を乗り越える力となると思います。

二つ目は、想像力と共感する気持ちを大切にしてほしいということです。身近な人から遠く離れた人まで、思いやりの心を持ち、考え、行動できる人になってほしいと思います。

三つめは、異質なものへの開かれた心と、偶然の出会いを大切にしてほしいということです。自分の心地よい世界に閉じこもるのではなく、時には自分と異なる考え方や価値観に触れ、人との出会いを楽しみ、新しい世界や新しい自分を発見することを期待します。

○風越高校と飯田下伊那を学びのフィールドに

風越高校には、皆さんの成長を応援する機会がたくさんあります。授業の内外で熱心に教えてくださる先生、クラブ活動や生徒会活動、大学から専門学校、就職まで対応した進路指導、地域と連携した国際交流活動や海外語学研修、飯田市教育委員会の支援を得ての探究活動など、皆さんには、この風越高校と飯田下伊那を学びのフィールドとして、最大限活用してほしいと思っています。

○一日一日を大切に丁寧に生活しよう

まだ目標がない、自分に何が合っているのかわからない、という人も多いでしょう。そのような人には、一日一日を大切に、丁寧に生活することを勧めます。気持ちの良い挨拶をする、時間や約束を守る、分からないことをそのままにしないなど。そうした生活を続けていけば、きっと、素敵な出会いや発見、目標や夢につながるきっかけが生まれてきます。そして、挑戦したいという思いが生まれてきたら、その気持ちに正直に、勇気をもって一歩を踏み出してください。

成長過程にある皆さんには、悲しいことや苦しいことに直面して、心が折れそうになる時もあるでしょう。そのような時には、人に助けを求めることを躊躇しないでください。本当に「自立」している人は、人に助言や助けを求められる人です。苦しくなったらぜひ周りの人、信頼できる仲間や大人に話をしてください。

飯田風越高校が、挑戦したいと思った時に安心してその一歩を踏み出すことが出来、そうした仲間を応援し合う温かい雰囲気があり、みなさん一人ひとりが成長を実感して大きく世界へ飛び立てるそんな学校となることを切に願い、式辞とします。



<カンボジア・スタディツアー参加>

3年 村沢優宇さん

「飯田市民の支援で設立された「飯田学校」が、この度、公立学校に認定され、記念碑の序幕式で、高校生代表として英語とクメール語でスピーチをしました。熱意があれば気持ちは伝わることを実感しました。子供たちのきらきらした目と豊かな表情を見て、コミュニケーションに笑顔が大切だと実感しました。人生観が変わりました。」

